

2026 年 10 月 16 日

ENEOS「横浜マラソン 2026」で発電機向けに 100%合成燃料軽油を供給 ～次世代燃料の活用を通じ、持続可能な大会運営を支援～

ENEOS 株式会社（以下、当社）は、2026 年 10 月 25 日に開催される横浜マラソン 2026 において、大会会場で使用される発電機向け燃料として 100%合成燃料軽油を供給することをお知らせします。

横浜マラソン 2026 は、約 3 万人のランナーをはじめ、多くの来場者が参加する国内有数の市民参加型スポーツイベントです。当社は大会オフィシャルパートナーとして、継続的に横浜マラソンを支援しております。横浜市内には当社の根岸製油所、横浜製造所、中央技術研究所、横浜鶴見ルブパークが所在しており、横浜は当社が長年にわたり事業を展開してきた重要な地域の一つです。

今回当社で供給する 100%合成燃料軽油は、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）の「グリーンイノベーション基金」事業のご支援のもと、当社中央技術研究所内に建設した実証プラントで製造したものです。本合成燃料は大会会場で使用される発電機の燃料として活用され、環境に配慮した大会運営に貢献します。

当社は、エネルギー・素材の安定供給とカーボンニュートラル社会の実現の両立に向け、SAF をはじめとするバイオ燃料や合成燃料など、次世代燃料の事業化・導入を推進しています。今回の横浜マラソンでの取り組みは、持続可能性と脱炭素を意識した大会運営を支援するとともに、合成燃料の新たな活用事例の創出につながるものです。また、合成燃料を大会運営に活用することで、多くのランナーや来場者の皆さまに次世代燃料が社会を支えるエネルギーとして活用される可能性を発信します。

当社は今後も、カーボンニュートラル社会の実現に向けて、次世代燃料の技術開発と社会実装を通じ、持続可能な社会の構築に貢献してまいります。



【写真：横浜マラソン 2025】



【合成燃料製造実証プラントの概略】

以 上

<横浜マラソン 2026 概要>

約3万人のランナー、約6千人のボランティアが参加する国内有数の市民参加型スポーツイベント。スポーツ振興や健康増進に寄与し、経済波及効果やシティセールス効果が期待できる「する、みる、ささえる」すべての人が楽しめる大会を目指します。また、「横浜マラソングリーンアクション」のもと、使用済みペットボトルの水平リサイクルや紙コップの再資源化など、持続可能な大会運営の実現に向けた取組を推進しています。

- ・ 開催日：2026年10月25日（日）
- ・ 主 催：横浜マラソン組織委員会（横浜市、神奈川県、公益財団法人横浜市スポーツ協会など）

- ・種 目：フルマラソン／42.195km
ペアリレー／第1走者(約22.7km)、第2走者(約19.5km)
湾岸ハイウェイラン／約20.3km
みなとみらい7kmラン／約7km
エンジョイラン(車いす、ファミリー、中学生)／約3km
- ・URL：<https://yokohamamarathon.jp/>

